

アンケート調査結果の概要

キャンパスマスタープラン作成の参考とするため、平成16年10月から11月に、学生教職員、OB、周辺にお住まいの方等を対象としたアンケート調査を実施した。

1. 調査対象と回答者

- ・回答者数は364通、内訳は大学関係者が288名（80%）、それ以外が76名（20%）。
- ・平成16年度の大学関係者総数26,707人（総職員6,776人、総在学生19,931人）の内約1.4%。
- ・回答者の主な活動エリアは吹田キャンパス31%、豊中キャンパス48%、両方と回答している者は10%。吹田キャンパスでは教職員の回答者の割合が、豊中キャンパスでの割合よりも多かった。

2. 設問ごとの結果集計の概要

・設問5「キャンパスであなたが最もくつろげる場所はどこですか」

最もくつろげる場所は「図書館」や「研究室・職場」という回答が多く、「なし・ない」といった回答も多く見られる。屋外の広場や庭園に対する回答は見られず、いずれも建物内の居室をあげている。それぞれの順位は豊中、吹田、学生、教職員で若干異なる結果となっている。

・設問6「キャンパスであなたが友人や同僚と集まって過ごす場所はどこですか。」

友人や同僚と集まって過ごす場所は豊中の学生では「食堂」が最も多く、吹田の学生と教職員は「研究室・職場」という回答が多い。また教職員のほうが「なし・ない」と回答する意見が多い。ここでも屋外の空間に対する回答は見られず建物内の居室をあげている。

・設問7「あなたのお気に入りの場所・風景はどこですか。」

お気に入りの場所・風景は豊中では「サイバー」「池」「待兼山」が多く、吹田では「池」「医学部」「本部」という回答が多い。また豊中では教職員、吹田では学生が「なし・ない」と回答する意見が多い。

・設問8「キャンパスで行ってみたい場所はありますか」

設問5と同じような「図書館」、「研究室・職場」という回答が多い。

・設問9「阪大のシンボルといえば何をイメージしますか」

阪大のシンボルとしてイメージするものは「銀杏」が最も多く、次いで「医学部・阪大病院」が続くが、「なし・ない」という回答も多く見られる。大学関係者以外でも「銀杏」が最も多く「医学部・阪大病院」「イ号館」などの回答も見られる。

・設問10「阪大キャンパスを魅力的にするためには、何が重要だと思いますか」

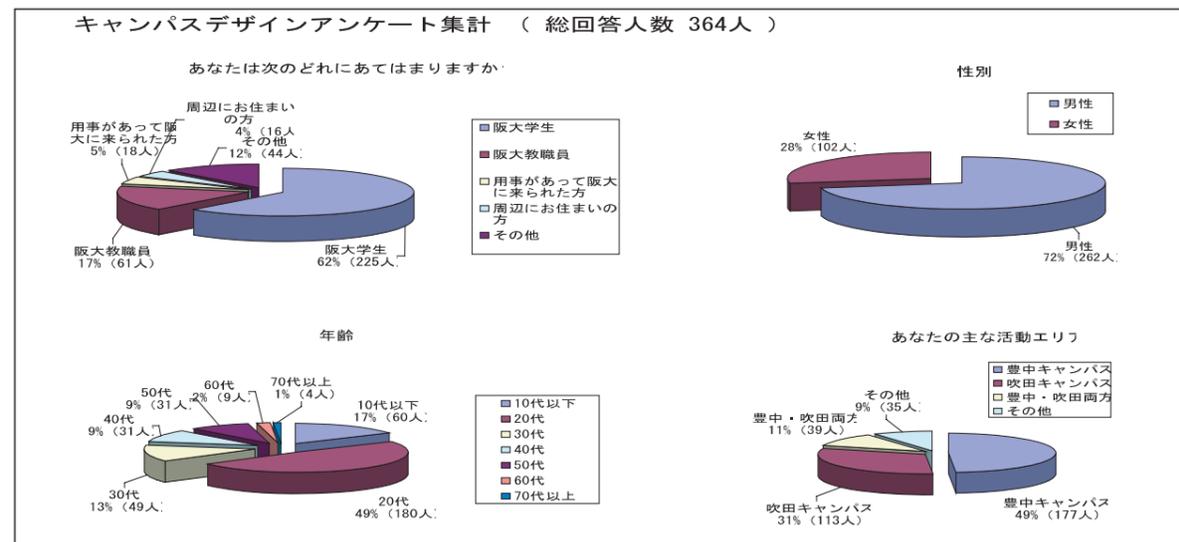
阪大キャンパスを魅力的にするために必要なものとして「芝生・広場」が全般的に最も多く、次いで「シンボル」「食堂」という回答が多い。また豊中の学生に比べて吹田の学生の方が「カフェ」「コンビニ」「生協」といった生活施設の回答が多い。

メンテナンス・マネジメントへの要求と期待

- ・施設整備の方針として、教育研究スペースの狭隘解消を最優先に建物の増設を重点に実施してきたが、食堂、トイレの充実、大学に長く居ることができるスペースの確保に関するものを除き、外部空間の充実、駐車駐輪場の整備、清掃、植栽などの維持管理に関するものが多く、従来の文教施設整備及び大学施設部サイドからはメインと考えてこなかったジャンルであった。
- ・建物の老朽化に対する不満よりも維持管理の不十分なことによる汚さや、ゴミ処理に対する苦情を指摘する意見が見られる。維持管理を担当する事務部門への不信感を表明する、一方で、使用者である学生のモラルを問う等キャンパスに対する愛着心を如何にもたせるのか、といった意見が多く見られる。

キャンパス計画への期待の全体的な傾向

- ・「キャンパスであなたが最もくつろげる場所」に対する回答で、「職場（研究室等）」、「豊中附属図書館」が多くを占めたのは、それ以外に「くつろげる場所」が阪大にいかにも不足しているかを物語っている。
- ・「阪大のシンボルといえば何をイメージしますか」に対する回答で、「イチョウ」という回答が他を圧して占めたのは、ステレオタイプ化された答えをした結果に過ぎないように思われる。2位の「医学部附属病院」、3位の「イ号館」も建築物として特に優れているわけではなく、阪大にシンボルとなるような魅力的な建物がないという事実を示している。
- ・「阪大キャンパスを魅力的にするためには何が重要だと思いますか」という回答では、「きれいでおしゃれな飲食店」が、「シンボリックな建物」、「芝生の大きな広場」を引き離しており、シンボリックな外見よりもまずはより身近で、楽しく、現実性のある環境へのベーシックな欲求を示している。
- ・それは「その他阪大について日頃感じていることについて具体的に書いてください」という回答の「食堂の充実が必要」、「憩える施設・場の整備」にも表れており、キャンパスへの最も基本的な期待であろう。
- ・「きれいでおしゃれな充実した」食堂や飲食店を実現する一方で、より大きなキャンパス空間、あるいは景観について考えねばならぬことはいまでもない。
- ・「あなたのお気に入りの場所・風景はどこですか」に対する回答では「共通教育前広場」、「イ号館からの眺め」「待兼池周辺」と意見が分かれたが、なぜそれらの場所や風景が気に入られているのか理由を確認あるいは分析する価値がある。
- ・「これからの大学に何を期待しますか」という回答に「開かれた大学」「地域との交流」といった答えが多数を占め、「威厳と風格のある大学」などの回答を大きく引き離していることも注目される。
- ・全体的に見て魅力のある場所、お気に入りの場所は的確に捉えられている。無いとう否定的な意見も多いが、ポテンシャルのある場所はそれなりによく認識されていると判断できる。そのポテンシャルを活かす工夫が必要で、そのためには**ハード整備だけではなくソフト対策も重要でありこの2点から方針策定が求められる。**
- ・魅力のある場所、お気に入りの場所は、キャンパス全体で見れば「図」として浮き上がって見える部分である。これに対して「地」としてのきめ細かい対応の重要性の指摘も多い。この範疇の意見として、「**自然を活かすこと**」、「**その状態を良好に保つべきこと**」、「**公共・共用部分のメンテナンス・清掃等を適切すること**」などがあり環境整備上は極めて重要な指摘である。





## マスタープランの中核とすべき考え方（MPメンバーの解釈）

### 1. 長期的指針と短期的にすぐにでも取り組むべき部分の明確化

- ・土地利用計画など長期を見据えて誘導しながら取り組む部分と、すぐに着手できるもの、必要最低限として整えるべきものなど短期的な取組みを区分けして明示する。
- ・土地利用計画は、緑地、道路、駐車場・駐輪場を有効に整備する方針を明示するとともに、バラバラと建ち進むいわば乱開発を未然に防ぐための指針を示すべきである。
- ・法経講義棟のトイレが性別で分かれていないなど教育環境等して最低限のレベルに満たないものは早急に改善していく必要がある。

### 2. キャンパスにおける魅力の核、シンボリック空間の形成

- ・「時計台があればいい」といったコメントはステレオタイプではあるが非常に多い。それに就いて時計台を作れば良いものでもないが大学にとってシンボルとは何かという問題を深く検討する機会があってもいいように思われる。
- ・シンボリック空間というのは、①人の活動との適合、②意味性（歴史性、記念性やメッセージ性）、③形態の個性（色、形、周囲の風景とのコントラスト）、④空間の広がりこれら4要素が重要だと考えられる。

また、他の意見「くつろげる場所」「歴史・伝統・研究・先進性の表現」、「おしゃれな建物」「芝生広場」等を求める声と一体的に考えなければならない。またキャンパス全体の空間構成に則したシンボリック性をつむぎだしていく必要がある。

- ー進学希望者を惹きつけるようなキャンパスデザインが必要。
- ー大学のシンボリックな時代を感じる建物がない。
- ー実力があるのに存在感がないのは、シンボルとなるような建物施設がないから。
- ー「阪大といたら\*\*\*!」という建物等が欲しい。博物館、景観を考慮した建物、イ号館のアピール。
- ー阪大文化が感じられるキャンパス。
- ーシンボルとなる建物を決め、その周りを整備する。
- ーメインストリートへの意見
  - メインストリートに面し求心力のある建物。もっと現代的に、
  - メインストリートはもっと現代的、綺麗なイルミネーションを
- ー何かシンボルになるような施設があればいいと思う。時計台ではあまりにも陳腐だが。
- ー学生だけではなく、一般の人が集うような施設や催しが欲しい。
- ー周りから見て、人が楽しそうに集まって話していたりする風景をもっと増やすこと。
- ー一般人に理解および興味をもってもらえないようなモニュメントは建てないこと。このようなことで浪費するなら、雑草整備に経費をまわすべき。
- ー吹田キャンパスは、万博記念公園と行き来をしやすくすれば、魅力が向上すると思う。
- ー「環境への配慮」をキャンパスデザインの中に表現することによって、アピール力を高める。
- ーGSEコモン高層棟 大階段での演劇やショーを見たい
- ーモノレール・キャンパスのイメージを高める。



#### ◇イメージの骨格をつくる（パス、ノード、ランドマーク）

##### 図となるキャンパスの構造

- 豊中キャンパス：芝原口、基礎工前ストリート、共通教育棟前歩行者空間、イ号館、阪大坂、待兼山
- 吹田キャンパス：東西通り、本部前空間、モノレール、窪地の公園化、ロータリー、体育館、コンベンションセンター、千里門

### 3. 交通計画の方針

- ・豊中、吹田キャンパスともに迷惑駐輪の不満が多くその原因として駐輪場の不足、学生マナーの悪さの指摘が多い。自動車に関しては入講許可規制の緩和を求める声が若年層を中心に見られる。
- ・自動車と歩行者との交錯、駐車場だらけのオープンスペースの乏しさ（身近な緑の不足）から自動車の全面的な入講禁止措置、制限を求める意見も多い。
- ・吹田、豊中キャンパスを結ぶ学内バスの利便性向上を望む声も多い。（頻度を増やす、夜間も走らせるなど）
- ・障害者の視点から学内の道路、施設のバリアフリー不備の指摘が多い。
- ・学内のアクセスも非常に閉鎖的な印象を持たれている。（入口の係員の態度、看板、ゲート、見てもわかりにくい案内図など）

#### (1) マスタープランへの示唆：すべての人が安全に快適に移動できる空間形成

##### ◇施設整備

- ・自転車駐輪場の分散配置（小規模の空きスペース、地下を有効利用）
- ・自動車駐車場の周辺配置（歩行者、自転車と自動車との交錯回避）
- ・空間の機能に合わせた道路空間の再配分（知の散策路、歩道、自転車道、自転車歩行者道、車道の整備方針）
- ・バリアフリー化された道路と施設へのアクセス
- ・インフォメーションセンターの設置

##### ◇規制

- ・自動車入講許可制度

##### ◇啓発・教育

- ・自転車マナーの周知徹底
- ・環境教育
- ・バリアフリー教育
- ・周辺住民とのコミュニケーション

#### (2) 利便性の高い環境づくり

##### ◇キャンパス間連絡バスのサービス向上

##### ◇キャンパス内の移動、自転車の利用

##### ◇生活機能施設の充実

#### (3) 多様な人の参加によるマスタープランづくり

##### ◇学生、職員だけではなく障害者、周辺住民などの参加

### 4. 賑わい、交流の核の形成

- ・レストランやカフェ、コンビニ、書店などに民間企業を参入させキャンパスの品格を落とさずにうまく誘導し、福利厚生面を充実させ、周辺地域の住民も気軽に訪れるようにする。
- ・周辺地域住民には阪大の「知」に接したいという要望が強く見えることから、例えば書店には専門書を充実させ、本を座って茶を飲みながら読めるようにしたり、セミナー室等を併設して公開講座を開くなどして、地域住民がキャンパス内に滞留できる中之島センターの両キャンパス版的なものとして地域に開かれた大学をアピールする。



## 5. 自然資源を活かした魅力の形成

- －工学部棟の前の池には何かが生息しているとまでいわれている。あの辺りの照明の少なさ、治安の悪さからこのような噂が生じるのだらうと思う。
- －草木の手入れをするのも重要ではないか。建物ばかり見て歩いているわけではない。
- －緑が多いということ売りしているようだが、全然緑を感じない。
- －肝心の池もごみが浮いていると意味ない。らふおれの坂付近にできた池が汚い
- －吹田キャンパスでは、犬飼池周辺の緑地、緑道はある程度の評価されている。
- －豊中キャンパスでは、待兼山への期待は高い。



### ◇活かすことのできる緑空間の把握

- ・大型の緑地（街路樹、路傍の低木など）はシンボリックな性格を持たせる。
- ・法面緑地、その他あいまい緑地については整備のガイドラインを作る。

## 特記すべき意見

### 1. その他、マスタープラン策定上重要な指摘項目

#### (1) 周辺地域との連携

- －ベッドタウンの中に佇んでいるだけでは、魅力向上に未来はないのは明らか。地域と一緒に変わって欲しい。
- －一般人の図書館などは利用できますが、セミナーなどに参加できるお知らせを出して欲しい。
- －講座の開催を参加者の立場で行って欲しい。
- －中之島センターから新しい魅力のある事柄を発信する。
- －卒業してから図書館が使えないのが不便。
- －災害時など地域社会において柔軟に対応できるキャンパス。防災拠点としての大学の機能に期待。
- －藤白台の公社住宅建て替えを契機に交流できる場所を整備。
- －現在の大学は周辺の方々からすれば公害にも似た状況だと思う。学生のマナーが悪い。
- －犬の散歩で糞害、迷惑スケボーに対処。

#### (2) 暮らしのセンター的施設、空間整備の必要性

- －夜8時で終る学食や、土、日は営業していない生協などあまりにも使い勝手が悪すぎる。
- －仮眠室や有料でもいいからシャワー施設ぐらいいは欲しい。
- －ATMの数、会社のバラエティ

#### (3) 清掃、廃品回収等

- －汚すぎる。特にトイレ、ゴミの散乱、マナー向上の必要性。
- －アルミ缶を回収しているひとが普通に入出入りしているキャンパスは阪大ぐらいではないか。
- －資源ごみ窃盗問題　－クリーンdayを作って一斉掃除（月一回程度）

#### (4) オープンスペースに関連して、余暇施設

- －テニスコート　無用論もある。　－運動施設の管理の外注。

#### (5) 両キャンパスの連携

- －キャンパス一体化の意見は多い
- －吹田キャンパスに移動する学生は経済的に苦勞する。人科停留所からたまにバスに乗れない。モノレールは高い。

#### 6) 大学の抜本的な姿勢を批判ないしその改善の必要性を指摘する意見

- －自らきれいにしようという意識がなく、誰かがやるだろうという感じ。
- －こういうアンケートがどう活かされたか伝わってこないところ－阪大らしい
- －現在の大学は周辺の方々からすれば公害にも似た状況だと思う。学生のマナーが悪い。
- －何か阪大全体がギスギスしているように感じる。
- －文系の扱いがひどい。日本学棟にトイレがなく、法経講義棟のトイレ(1F)男女の区別が完全でない。なぜ大学生になって、この年になってまで、はずかしめを受けなければならないのか？同じ学費を払っているのに不公平
- －文化の香りがしない野蛮な理科系の大学という感じがする
- －期待したところで大して変わるものではない。所詮教授というのは、自分の研究しか見えておらず、事務職員も、学生を「ただ管理する対象」としてしか考えていないのだから。
- －研究に重きを置き学生を放置、特別生産性のある人だけが育てば良いとも思える校風が原因だらうと思う。

#### (7) 関係者のニーズの把握とその反映、ソフト面の工夫・改善に関する意見

- －ニーズを把握してこれに応える仕組みが必要。レギュラーな意見箱の設置など。
- －個人情報問題。専攻事務で誰でも他人の成績票を事実上自由に閲覧できるようになっている。個人情報をメールに添付して回覧するとか。
- －構内出入り口の係員の対応が悪い。（外部からみればガードマンも阪大の職員）

### 2. その他、マスタープラン策定上重要な指摘項目

- (1) 「キャンパスが社会から隔離され、閉鎖性の強い場所になっている」「さまざまな次元で社会と融合した知の創造拠点になってほしい」というコメントは注目される。
- (2) 「象徴的建物が無い。そのことが、実力はあるにもかかわらず、世間で阪大のイメージが薄い・存在感が無いという原因の一つではないだろうか」というコメント。箱物はもういらない、という意見は最近、各方面で聞かれるが、阪大キャンパスのイメージをつくることは、常に意識しておくべきことであるように思われる。これまで、そのような意識があまりにも足りなかった。
- (3) 「現在の大学キャンパスは周辺の方々からすると公害にも似た状態だと思います」というコメント。阪大に限らないかもしれないが、現在の阪大キャンパスはそれに近い。阪大豊中キャンパス付近、吹田キャンパス付近に住むことが誇りに感じられるようなキャンパスを目指すべきだろう。
- (4) 「浪高庭園のような憩いの場であっても手入れが行き届いていないため座る気がしない。石橋門の辺りは手入れをよくしているが、ただの通り道なのでそこばかり見栄えをよくするのもどうかと思う。」この意見はキャンパス全体のバランス及び経費のかけ方その効果とのバランスについて適切に指摘している。キャンパス全体の見直しが必要でありランドスケープ・デザインの専門家の意見を聞くことや、他大学キャンパスのグループ見学等、検討が必要。
- (5) 「らふおれの坂付近にできた池が汚い」というコメント。早急に改善が必要であらう。またそのようにならない対策が必要である。
- (6) 「建物を長期的な展望でお願いしたい。（中略）法人化され自由度が増したと思いますので。」法人化による変化に期待する意見がいくつかある。
- (7) 「・・・交通が少しごちゃごちゃしている気がする。人が歩く所と車をきちんとわけ、また車道もどちらが優先でどこで一旦停止なのかとかをはっきりさせたほうがいいと思う。」あまり、市内のように過度に交通規制等され過ぎるのもいけないが混乱しているのは事実であり、交通、駐車関係は早急に根本的解決が必要に思われる。
- (8) 「統一感がない」という指摘は多い。
- (9) 「マスタープランの策定には、ぜひ障害当事者の参画をお願いしたいと思います」というコメントにはできるだけ対応すべきではないだろうか。
- (10) 「吹田キャンパスは夜間人も少なく、女性の私が一人でバス停まで歩くだけでもすごく怖い。何らかの安全対策をこうじてほしい」というコメントにもできるだけ対応すべきではないだろうか。
- (11) 「国立大だって宣伝にお金をかけたり、オシャレな大学のイメージをつくっていかないとだめなのは？もちろん勉強できる環境第一優先ですけれどね。ただ、阪大に限って言えばあまりにも地味すぎる。」
- (12) 「まず何より土地、豊中と吹田のあらゆる面での不均衡の是正、・・・」これはなかなか困難な問題だが、この点を指摘する意見はかなりある。抜本的な検討を進めるべきであるように思う。
- (13) 「文系学部の建物の薄汚れたイメージ」を指摘する意見は多い。
- (14) 「時計台があればいい」といったコメントは、ステレオタイプではあるが、非常に多く、かといって、それに添って時計台をつくれればいいものでもないが、大学にとってシンボルとは何か、という問題を深く検討する機会があってもいいように思われる。

### まとめ

教職員にとってくつろげる場所や友人、同僚と過ごす場所は概ね「研究室」であり、学生では低学年は「食堂」、高学年は「研究室」と考えていること。これらの間に対して屋外空間に関してはほとんど意識されなかったことから、大学生活の基本が屋内空間を中心に行われていると考えられる。

しかし一方では、お気に入りの場所・風景については「池」「待兼山」といった自然を揚げており、キャンパスを魅力的にするためには「芝生・広場」が必要であると感じていることから、キャンパスの屋外空間の現状には満足しておらず、今後見直していきたいという積極的な意識が伺える。キャンパスマスタープランを策定していく上で、これらの結果の傾向は豊中エリア、吹田エリアでやや異なることから、同一の基準で統一するのではなく、それぞれの特性を活かしながら進めていく必要があることを示している。さらに学生と教職員でもその意識に若干の違いが見られることにも配慮が望まれる。



### 5. キャンパスであなたが最もくつろげる場所

項目	数量	豊中地区			吹田地区		
		学生	教職員	その他	学生	教職員	その他
農場(研究室等)	55	18	8	1	20	7	1
豊中附属図書館	40	36	2	2			
豊中図書館下食堂	15	15					
豊中福利施設	12	12					
吹田図書館(工)	12				11	1	
らふおれ(豊中食堂)	10	10					
とんとん(豊中食堂)	7	7					
浪高庭園	6	6					
豊中図書館前広場	4	3	1				
講義室	4	4					
豊中サイバー棟	4	4					
クラブの部室	4	4					
共通教育棟	4	4					
工学部講義棟周辺広場	4	4			3	1	
工学部食堂	4	4			3	1	
生命科学図書館	4	4			3	1	
理学部H棟	3	2	1				
文法総合研究棟ロビー	3	3					
体育館	3	3	1		1	1	
明道館	3	3					
テニスコート	3	3					
特になし	44	19	6		9	9	1
その他	24	7	2	1	9	4	1
小計	272	160	21	4	59	25	3

### 9. 阪大のシンボルといえば何をイメージしますか。

項目	数量	豊中地区			吹田地区		
		学生	教職員	その他	学生	教職員	その他
イチョウ	169	68	15	7	54	17	8
医学部附属病院	27				15	9	3
イ号館	25	14	5	6			
待兼山	23	15	5	3			
石橋門(石柱)	16	12	2	2			
医学部	13				10	1	2
白い巨塔	10				8	1	1
阪大坂	10	9	1				
生命科学図書館	7				2	3	2
メインストリート(豊中)	6	6					
図書館	5	3		1			
樹木、竹林	4				2	1	1
待兼山	4	2	2				
ゆったりとした学舎	2				1	1	
豊中サイバー棟	2	2					
殺風景、コンクリートジャングル	2					1	1
食堂	2	2					
ださく野暮ったい所	2				2		
特になし	50	21	2	3	21	1	2
その他	26	9	4	3	5	3	2
小計	405	163	36	25	119	38	24

手塚治虫(作品含む)	8		1	1			
適塾	7		1	4			
時計台のようなシンボル	6						
総長	5		1				
中之島センター	3		1	1			
研究レベルの高さ	2						

### アンケート 調査結果の集計

### 6. キャンパスであなたが友人や同僚と集まって過ごす場所

項目	数量	豊中地区			吹田地区		
		学生	教職員	その他	学生	教職員	その他
農場(研究室等)	59	19	8	1	22	9	
豊中福利施設	30	29	1				
豊中図書館下食堂	28	28					
教室	24	17	1		6		
とんとん(豊中食堂)	18	18					
らふおれ(豊中食堂)	11	11					
工学部食堂	8				7	1	
クラブの部室	7	7					
明道館	7	7					
テニスコート	6	2				4	
共通教育棟	5	5					
工学部講義棟周辺広場	5				5		
一富士(吹田食堂)	5				2	2	1
豊中図書館前広場	4	4					
豊中サイバー棟	4	4					
文法総合研究棟ロビー	4	4					
人間科学部棟	4				4		
豊中附属図書館	3	3					
理学部H棟	3	3					
浪高庭園	3	3					
豊中サイバー棟の広場	3	3					
グラウンド	3	3					
吹田食堂	3				2		1
ミネルバ(吹田銀杏会館)	3				2	1	
特になし	21	5	4	1	11		
その他	16	5	2	1	4	3	1
小計	287	180	16	3	54	31	3

### 10. 阪大キャンパスを魅力的にするためには何が必要だと思いますか。

項目	数量	豊中地区			吹田地区		
		学生	教職員	その他	学生	教職員	その他
きれいでおしゃれな飲食店	49	25	5		13	4	2
芝生の大きな広場	28	15	4		6	2	1
建物デザインの統一	20	3	4	2	2	5	4
くつろぎのベンチ(ベンチ)	18	9	1	3	4	1	
コンビニ	14	6	2	1	4	1	
老朽施設の改修	12	8	1	1	2	1	
福利施設の充実	10	2	1	1	4	2	
外部との交流の場	8	2	1	1	2		2
老朽施設の改修	7	3			2	1	1
オープンな環境	7	1	1	2	1	2	
定期的な草刈、草刈り	7	2	2		1	2	
講演会、セミナーの実施	6	1	2	1	1	1	
学生のマナーの向上	5	1	2		1	1	
維持管理	5	1	1	1	2		
学問的な発展	4	2	1		1	1	
博物館の整備	4	1	1	1	1		
メインストリートの整備	3	1	1			1	
大阪市内への移転	3	2			1		
情報機能の整備充実	3	3					
一般への開放	3			1	1	1	
キャンパスの統一	2	1			1		
シンボリックな建物・空間	28	16	1	3	4	1	3
清掃	21	10	4	2	1	2	2
シンボル(時計台)	20	9	2	3	3	2	1
緑化の推進	18	2	3	5	3	2	
駐輪場	13	5	3	1	1	2	1
印象的な建物	10	3	3	1	1	1	1
駐車場	10	4	2		1	3	
きれいな建物、設備	8	3		1	2	1	1
アクセスを良くする	7	1		3	2	1	
開放広場	7	2	1	2		1	1
道路の充実(歩道含む)	7	5	1			1	
スポーツ施設	6	3			1	2	
文科系校舎の改修	5	4	1				
教職員の意識向上	4	2	1		1		
清潔なトイレ	4	2	1		1		
アカデミックな建物	3	1			1		1
自動車乗入れ禁止	3	1	1	1			
連絡バスの増便	3					3	
照明不足(外灯が少なく暗い)	3	1	1		1		
仮眠室、浴室、宿泊施設	4		2		1		1
その他	29	12	5	1	7	3	1
小計	431	175	61	38	78	49	30

### 7. あなたのお気に入りの場所・風景はどこですか。

項目	数量	豊中地区			吹田地区		
		学生	教職員	その他	学生	教職員	その他
共通教育前広場(イノストリート)	21	18	3				
イ号館からの眺め	16	10	4	2			
待兼山周辺	15	14	1				
イ号館	9	7	2				
医学部建物前の広場	9				5	4	
待兼山	8	4	3	1			
吹田正門周辺広場	8				5	3	
工学部講義棟周辺広場	8				6	2	
浪高庭園	7	7					
阪大坂	7	6	1				
コンベンション前広場	7				2	5	
豊中サイバー棟	6	6					
医学部附属病院からの眺め	6				2	4	
研究室	5	4			1		
豊中サイバー棟の広場	5	5					
豊中サイバー棟からの眺め	5	5					
豊中附属図書館	5	5					
工学部屋上からの眺め	5				3	1	1
大倉池周辺	5				2	3	
待兼山周辺	4	4					
らふおれ(豊中食堂)	4	4					
理学部及び屋上からの眺め	4	3	1				
銀杏会館からの眺め	4				3	1	
生命科学図書館	4				3	1	
豊中図書館前広場	3	3					
石橋門(石柱)	3	3					
共通教育棟	3	3					
豊中附属図書館からの眺め	3	3					
吹田モノレールからの眺め	3				3		
医学部附属病院	3				3		
保健学科	3				2	1	
らふおれからの眺め	2	2					
理学部前広場	2	2					
大高の森	2	1		1			
豊中福利施設	2	2					
基礎工屋上からの眺め	2	1	1				
千里門周辺	2				2		
本部事務局棟への眺め	2					2	
特になし	37	22	3	1	8	3	
その他	29	10	3	1	9	4	2
小計	278	154	22	6	58	34	4

### 11. その他阪大について日頃感じていることについて具体的に書いて下さい。

項目	数量	豊中地区			吹田地区		
		学生	教職員	その他	学生	教職員	その他
食堂の充実が必要	30	14	4	2	6	3	1
殺風景、味気ない、雑然としている	21	6	1	2	7	3	2
清掃の不備	16	9	2	2	2	1	
トイレの整備	14	10	1		2	1	
移動が不便(連絡バス増便)	11	5	2		2	1	1
交通の便が悪い	9	4	1	1	2	1	
バリアフリーの推進	7	1	2	1	2	1	
おしゃれで美しい建物がほしい	7	3			2	1	1
生協の充実(日用品、書籍)	6	3	1		1	1	
環境整備の充実	6	1	2	1	1	1	
芝生広場の整備	5	2	1	1	1		
学生マナーの向上	5	2	1		1	1	
人口密度が高過ぎ(豊中)	5	4	1				
定期的な草刈、剪定の実施	6	2	2		1	1	
独自性がなくイメージが悪い	5	2	1		1	1	
閉鎖的、暗いイメージ	4	1		1	1	1	
施設スペースが狭い	4	1	1		2		
長期計画の重要性	4	1	1		1	1	
不法駐車場の撤去	3		1		1	1	
土地の有効利用	3	1				2	
メインストリートの整備	3	2	1				
仮眠室、ジャッパの整備	3	1	2				
シンボルの整備(時計台)	2	1		1			
門衛所の自動化	2				1	1	
憩える施設・場の整備	22	9	3	2	4	4	
駐車場の整備が必要	16	8	3	2	2	2	1
駐輪場の整備が必要	15	10	2	1	1	1	
キャンパスデザインの統一	12	5	2	1	3	1	
建物が古く汚い(改修必要)	13	7	2		3	1	
メンテが悪い	9	4	2	1	1	1	
サイン、標識の整備	7		1		1	2	3
シンボルの整備	7	3	1	1	1	1	
ジャッパが暗い(外灯が少ない)	6	3	1		2		
文科系の建物が貧弱	6	4	1	1			

### 8. キャンパスで行ってみたい場所はありますか。

項目	数量	豊中地区			吹田地区		
		学生	教職員	その他	学生	教職員	その他
図書館	11	5		2	3		1
研究室	6	3			2		1
博物館	6	2		1	2		1
食堂	5	2		1	2		
GSEコモン	5				4		1
待兼山	2	1					1
待兼池	2	1		1			
豊中福利施設	2	1		1			
生命機能研究科棟	2				1	1	
医学部附属病院	2				1		1
レーザー13号研	2				1	1	
コンベンション及びその周辺	2				1		1
特になし	21	8	1	4	1	2	5
その他	17	7	3		4	2	1
小計	85	30	4	10	22	7	12